

肉用牛

産地の特徴

高山市では、127戸の繁殖・肥育農家により11,098頭の肉用牛が飼育されている。子牛を生産する繁殖牛は、夏山冬里方式により春から秋の期間は自然環境豊かな牧場に放牧され、牛の健康増進と生産コスト低減が図られている。

「安福号」の系統を引き継いだ長年の種雄牛づくりと飼育技術の向上により、「飛騨牛」ブランドが確立されてきた。食肉センターで処理加工された枝肉は、海外へも出荷されている。

